

議会運営委員会行政視察報告

視察日 10月3日～4日
視察市 大阪府堺市
視察項目

- ・ 政務活動費の使途基準
- ・ 議会報告会
- ・ 委員会の情報公開

政務活動費の適正な支出に向けた取り組み

堺市は84万の人口を抱え、今年度当初予算は約7598億円（本市は約284億円）、政務活動費は議員一人あたり月額30万円（同・月額1万円）と、本市とは財政的な条件が大きく異なる政令指定都市である。

同市では、平成26～27年度に現職市議による政務活動費の不適正支出が問題化し、一部議員の辞職にまで発展したことをきっかけに、適正化に向けた具体的な取り組みが進んでいる。

その主なものは、四半期ごとの領収書等の提出、使途の透明性を高めるための提出書類の追加（貸借契約書の写し、雇用契約書の写し、出張報告書、チラシ等の見積書、納品書、請求書及び成果物ほか）、弁護士と大学教員による書類検査の実施、領収書等のインターネット公開である。

使途項目別に案分率が定められ、旅費については、実費分の支給を原則としている。

オープンにまちの未来を語る議会報告会

議会報告会は2部構成で、第1部が議会報告、第2部は議員との懇談「トークカフェ」。議会報告会とは銘打っているが、まちの未来をオープンに語る第2部が、事実上のメインとなっており、規則で議員が個人の意見を述べないことを原

則としている本市の議会報告会とは様相が異なる。

懇談には「ワールドカフェ方式」を採用。各常任委員会ごとに2つのテーブルが用意され、その委員会に所属する議員が二手に分かれて着座。参加者は、参加申し込み時に、懇談を希望する委員会名を第3希望まで申し出ておく。参加者が2つの委員会のテーブルで各25分間、議員と懇談する。所定の時間にテーブルの全員が発言できる工夫もなされる。

意見交換のテーマは各委員会に一任されており、28年度は例えば、「防災・防犯・消防」（市民人権委員会）、「産業振興」（産業環境委員会）、「公共交通」（建設委員会）、「いじめ・不登校対策」（文教委員会）、「読みたくなる広報さかい」（総務財政委員会）、「子育て支援」（健康福祉委員会）について懇談が持たれた。

委員会の情報公開

常任委員会、特別委員会は定員10人、議会運営委員会は定員5人で傍聴ができる。委員会の審査内容は「広報さかい」で市民に周知される。委員会の会議録は、市の図書館等で閲覧できるほか、インターネットで公開されている。また、議会運営委員会を除く委員会の映像（生中継・録画中継）は、インターネットで閲覧できる。

（小野 立）



議員定数に関する検討会報告書を提出しました

議員定数に関する検討会の伊藤洋文座長は11月21日、議会運営委員会の小野立委員長に議員定数に関する検討会報告書を手渡しました。

検討会は6回開催され、議員定数を現行の22人から4人減とすべきである（平政・公明党）、2人減とすべきである（希望、改革ネットワーク、議会改革を推進する諸派の会）の二つの意見が出されました。意見の一致に向け協議を行いました。が、結論が変わらなかったことから、報告書は両論併記となりました。



議員の定数を定める条例を一部改正しました

12月定例議会にて、議員定数を現行の22人から18人に改める改正案（議会議案第3号）を平政・公明党が提出し、議員定数を現行の22人から20人に改める改正案（議会議案第4号）を希望、改革ネットワーク、議会改革を推進する諸派の会の各会派代表者が連名で提出しました。

採決の結果、20人に改める改正案が賛成多数で可決されました。

改正後の条例は、今年4月8日告示、15日投開票の能代市議会議員選挙から適用されます。